

日本風景街道大学

# ふくしま浜街道校

《日時》

平成28年12月9日(金)10日(土)

9日 / 現地ワークショップ

10日 / 全体会・分科会

《会場》

いわき産業創造館

福島県いわき市平字田町 120 番地 LATOV 6 階  
TEL.0246(21)7570

## 風景街道と復興地域づくり、 そして次世代への継承

平成23年3月11日東日本大震災が発生し、  
地震、津波による被害のほか、福島第一原子力発電所の  
事故により福島県浜通り地方は、甚大な被害を受けました。

風景街道「ふくしま浜街道ハッピーロード」は、  
沿岸部の復興の希望となるよう桜の植樹や、震災以前より継続している  
ハイスクールサミットの開催、震災により活動を休止していた  
「みんなでやっぺきれいな6国!」も再開し、次世代を担う子供たちと  
協働・交流による活動により、地域の復興支援や次世代の担い手を  
育成する活動を行っています。

被災地の復興地域づくりに、どのように風景街道が貢献できるか、  
また、風景街道の活動を継続していくための人材育成を  
どうすべきかについて考えることを目的に開催します。



主催 / 日本風景街道大学 ふくしま浜街道校 実行委員会

構成団体 / いわき市・広野町・NPO法人ハッピーロード・NPO法人日本風景街道コミュニティ・  
いわき観光まちづくりビューロー・広野町観光協会

後援 / 国土交通省東北地方整備局・観光庁・福島県・東北風景街道協議会・東日本高速道路株式会社・いわき商工会議所・  
いわき青年会議所・南双葉青年会議所・株式会社いわき市民コミュニティ放送・株式会社福島民報社・  
株式会社福島民友新聞社・株式会社いわき民報社・株式会社福島建設工業新聞社・NHK福島放送局・東日本国際大学

お問合せ先

【開催地事務局】NPO法人ハッピーロードネット  
(ふくしま浜街道ハッピーロード事務局 担当: 鯨岡・渡辺)  
携帯: 080-6014-4372 FAX: 0240-23-6172  
E-mail office@happyroad.net

【NPO法人日本風景街道コミュニティ 担当事務局】  
(北海道開発技術センター内 担当: 芝崎)  
TEL: 011-738-3363 FAX: 011-738-1889  
E-mail shibazaki@decnet.or.jp

# 日本風景街道大学 ふくしま浜街道校の内容

**1日目** 12/9(金) **現地ワークショップ** 参加費1,300円(昼食代込) 10:00~16:10 ※9:45 いわき駅北口集合

## コース.1 被災地視察と高校生との協働による名所づくり

楢葉町(ならばPA)→富岡町(夜ノ森)→  
 広野町(桜公園・桜植樹/国道6号・道の駅ならば)→  
 いわき市(道の駅よつくら港)



- 1 いち早く復興した道の駅よつくら港
- 2 バリケードで分断される夜ノ森の桜並木
- 3 津波被災地の復興区画整理事業
- 4 子供たちのアイデアが実現した「ならばPA」

## コース.2 被災地視察と官民一体の復興まちづくり

いわき市(道の駅よつくら港・久ノ浜防災緑地)→  
 楢葉町(道の駅ならば・ならばPA)→富岡町(夜ノ森)  
 ※大型バスによる視察。コース1、コース2から選択。

◇**交流会** 参加費5,000円 時間/18:00~20:00・場所/ワンダーファーム いわき市四倉町中島三反田地内 TEL.0246(85)5105

**2日目** 12/10(土) **全体会** 9:30~12:30

**分科会** 13:20~16:10

●開会式/9:30~9:50 ●開校目的説明

《基調講演》

「風景街道・地域づくりと強靱化・地方創生」……………9:50~10:30

◇講演者/石田東生(国立大学法人 筑波大学 システム情報系 社会学域教授)

《開催地報告その1》

次世代の地域づくり・風景街道継承……………10:30~10:50

子供たちの発案による地域づくりの取り組み ならばPA、ふくしま浜街道桜プロジェクト

◇報告者/ハイスクールサミット参加者(大学生フェシリテータ)

開催地活動事例報告

桑折宿まちなか街道の取り組み……………10:50~11:10

仙台藩伊達氏発祥の地としての歴史的背景に基づく歴史的建造物等や街道を活かしたまちづくり

◇報告者/畠腹桂子氏(奥州・羽州街道「桑折宿」まちなか街道 会長)

休憩《Intermission》 11:10~11:20

城下町あいづ道草街道の取り組み……………11:20~11:40

会津藩の居城「鶴ヶ城」を核として史跡・建造物を活かしたまちづくり

◇報告者/庄司裕氏(城下町あいづ道草街道推進協議会・七日町通りまちなみ協議会事務局)

《開催地報告その2》

震災復興と道の駅

道の駅「よつくら港」……………11:40~12:00

大震災時の道の駅の活動(復興セール・イベント)及び、震災後、新たな地域の拠点として児童支援施設などの整備による地域の復興を支援

◇報告者/道の駅「よつくら港」駅長 白土健二氏

道の駅「遠野」……………12:00~12:20

大震災時の被災地後方支援基地としての役割と、震災後、沿岸地域への復興支援、また地域の観光振興に向けての拠点化

◇報告者/道の駅「遠野」前駅長 菊地美之氏(一社)遠野ふるさと公社事務局長)

《全体会議総括》……………12:20~12:30

◇総括者/石田東生(NPO日本風景街道コミュニティ代表理事)

《第1分科会》……………13:20~14:50

**風景街道活動による地域振興「新たな生活景の創出」**

日本風景街道で着目されるのは、自然の中で営まれる暮らしの風景(生活景)。地域振興とは、地域の豊かな生活景を守り、創り、伝えること。日本風景街道活動による地域振興の「心」「技」「体」とは…。

◇座長/山内秀彦 NPO地域づくりサポートネット代表理事  
 コミュニティシンクタンク研究員

《第2分科会》……………13:20~14:50

**風景街道活動を次世代に継承するために**

風景街道の活動もメンバーの固定化や高齢化などで、その「持続」という課題が顕在化。今後活動の存続に向けては、若年層の参加促進や後継者作りが必要とされている。若年層の積極的な活動参加に成功している先進事例を紹介するとともに、如何に若年層の参加を促すかの議論を行う。

◇座長/紺野裕乃(一社)北海道開発技術センター 上席研究員  
 (一社)シーニックバイウェイ支援センター 理事

《第3分科会》……………13:20~14:50

**日本風景街道と「道の駅」の連携による地域振興策**

今後、地域固有の観光資源を活かし地域活性化を図るためには、風景街道活動による地域周遊の取り組み(ノウハウ)と、その情報発信拠点としての「道の駅」の連携が有効な手法として考えられる。積極的な連携を可能にするための課題とその克服を先行事例の紹介と、今後の連携のあり方について議論を行う。

◇座長/吉武哲信 九州工業大学教授 日本風景街道コミュニティ 理事

●分科会総括……………14:50~15:20

●風景街道による

福島復興に向けて宣言……………15:20~15:25

ふくしま浜街道ハッピーロード

NPOハッピーロード代表理事 西本由美子

●道路協力団体制度に関する説明会……………15:25~16:10

**参加申込書** 必要事項をご記入の上、10月28日(金)までにFAXまたはメールにてお申し込みください

申込者

お名前	12/8金		第1日目/12月9日(金)				第2日目/12月10日(土)				
	前泊	前泊	ワークショップ		交流会	宿泊	全体会	分科会			昼食
《お名前》		コース1	コース2	①				②	③		
《所属》											
《電話番号》											
《E-mail》											
※必須											

※参加希望プログラムに○をつけてください。 ※集合場所などの詳細をご連絡するためにメールアドレスは必ずご記載ください。 ※2日目のテーマ別分科会については、ご希望の1つをお選びください。 ※2日目の昼食をご希望の場合、食事代として1,000円をいただきます。 ※宿泊先はいわき駅周辺のビジネスホテルをご用意いたします。(交流会会場からバス送迎あり)

**FAX.0240(23)6171**  
**E-mail.office@happyroad.net**